

万治の石仏

まんじのせきぶつ



1 食祭館 ☎26-4931

2 万治の石仏前売店

3 オルゴール記念館 すわのね ☎26-7300

4 下諏訪観光協会(儀象堂内)/下諏訪観光案内所 ☎26-2102 ☎28-2231

5 儀象堂 ☎27-0001

6 新鶴本店 ☎27-8620

7 フレール洋菓子店 ☎27-1879

8 信州手焼きせんべい本舗 ☎28-3195

9 パン工房 たるかわ ☎26-7915

10 福田屋本店 ☎27-7397

まんじ君ストラップ
とうぎやく陶玉ストラップ
石仏オルゴール
万治の石仏パンダナ
下諏訪温泉手ぬぐい
万治の石仏根付け
万治くんやしまるクロック
万治のほろ酔い
万治の石仏・くるみ黒ごまクッキー
万治の石仏せんべい
万治パン
万治の石仏もち

万治の石仏のすぐ近く!

おんばしら館 よいさ

〒393-0092 長野県諏訪郡下諏訪町168番地1
Tel/Fax 0266-26-0413

開館時間 9:00-17:00

休館日 火曜日、12/28-1/3 (火曜日が祝日の場合はその翌日)

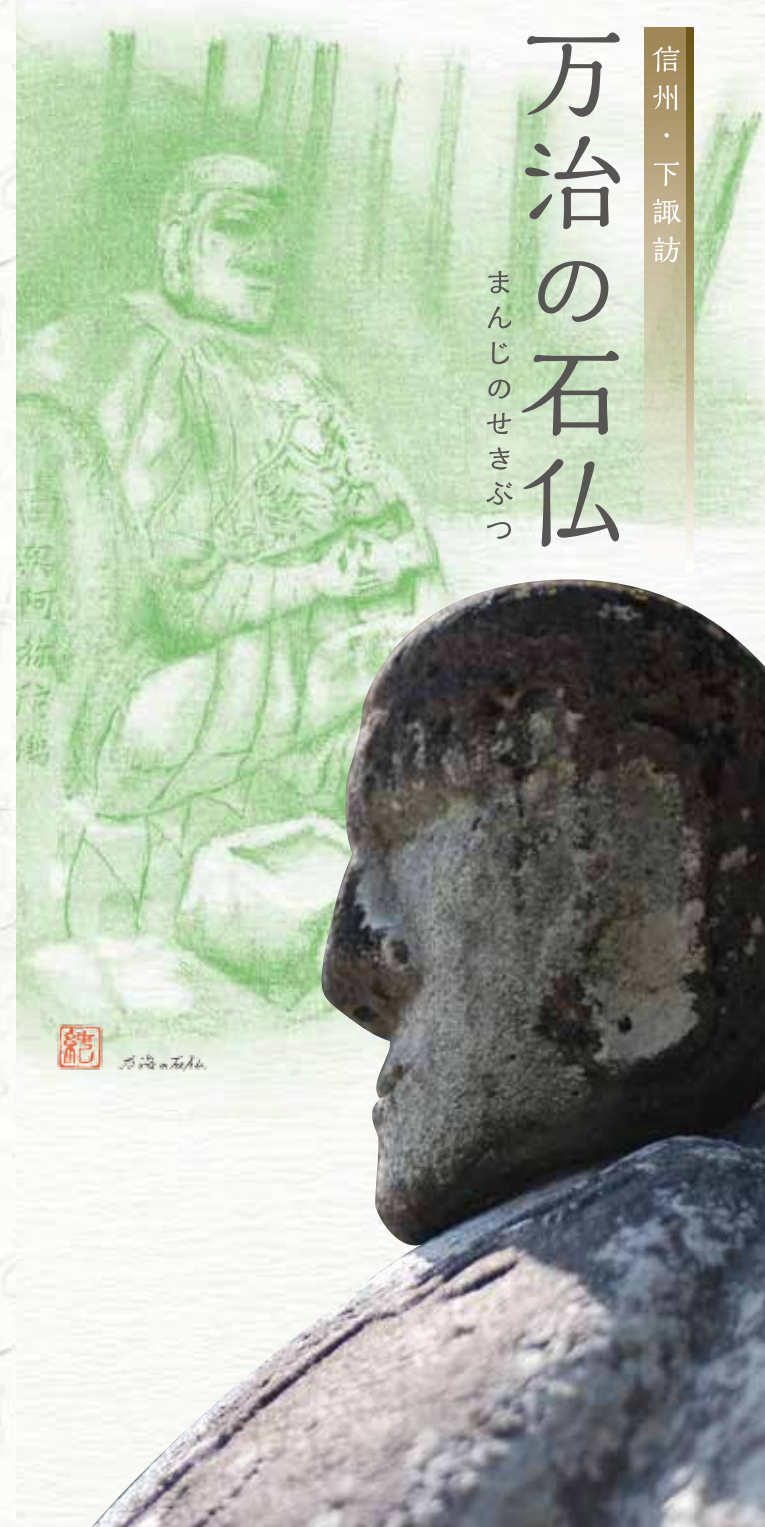
入館料 大人 300円 子ども(小・中学生) 200円

展示物、木落とし体験 シアター等!!

祭りの文化がここに
諏訪の祭り文化に触れる空間。
諏訪人の魅力を伝える。
七年に一度、開催される「御柱祭」。

諏訪人の思いとその迫力をお楽しみください。

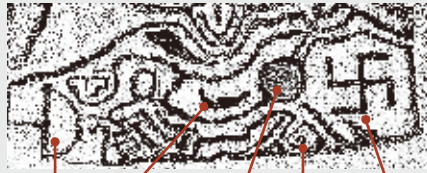
※駐車場はございません。



万治の石仏とは

諏訪大社下社春宮の近くの砥川沿いに鎮座する万治の石仏。自然石のてっぺんに、ちょこんと首が乗るアンバランスな風貌とユーモラスな表情が特徴です。

胸には逆卍(まんじ)や雷・太陽・雲・月などの記号や絵が、手を組んだ右側には南無阿弥陀仏の文字が彫られています。これは大日如来を教主とする密教の曼陀羅(まんだら)で、阿弥陀如来と大日如来を一体の石仏に共存させた「同体異仏」を、信仰する密教集団の「弾誓上人(たんせいしょうにん)(1551~1613)」を祖とする浄土宗の一派です。万治の石仏は、この弾誓上人の供養塔であるといわれています。



月 雲 太陽 雷 逆卍

岡本太郎と万治の石仏

万治の石仏を世に出した人物として、岡本太郎が有名です。下諏訪の歴史的な情緒を好んだ岡本太郎は、昭和49(1974)年の諏訪大社御柱祭でこの地を訪れ、この石仏を発見し【世界中歩いているがこんな面白いもの見たことがない】と絶賛しました。これ以降、新聞や雑誌で万治の石仏が紹介されるようになり、次々と人が訪れるようになりました。

この石仏は自然石で、石質は安山岩でつくられています。

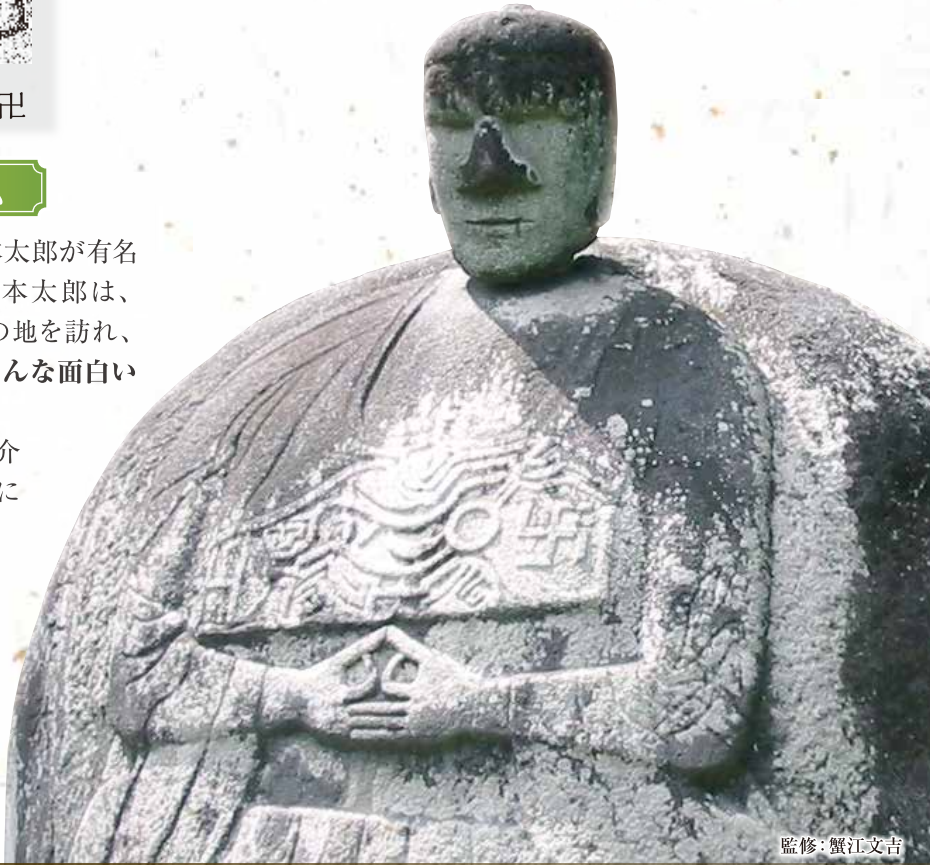
- 高さ … 2m60cm
- 横 … 3m80cm
- 奥行幅 … 3m70cm
- 胴回り … 11m85cm

万治の石仏とその伝承

明暦3(1657)年、諏訪高島藩の第三代藩主諏訪忠晴が、諏訪大社下社春宮に、石の鳥居を寄進しようとしたときのことで、これを請けた石工が、この地にあった大きな石を加工しようとノミを入れたところ、その石から血が流れ出しました。驚き恐れた石工は鳥居を造ることをやめ、この不思議な石に阿弥陀様を刻み、この石仏を建立したと伝えられています。

この石仏を建立した願主の名前は、名号碑の左袖に右記のように刻まれています。その碑名から、願主は浄土宗の僧侶であることがわかります。

願主 明誓浄光
心誓廣春
南無阿弥陀佛



監修・蟹江文吉

万治の石仏 お参りの仕方

その一



正面で一礼をする

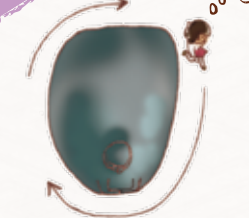
その二

「よろず
おさまり
ますように」

と心で
念じる



その三



石仏の周りを、願い事を心で唱えながら時計回りに三周する

その四



正面に戻り「よろずおさめました」と唱えてから一礼する

下諏訪観光協会・下諏訪商工会議所 提唱



お問い合わせ

下諏訪観光協会 ☎0266-26-2102

<http://shimosuwaonsen.jp/>

長野県諏訪郡下諏訪町3289(儀象堂内)



ご宿泊については

下諏訪観光案内所 ☎0266-28-2231

長野県諏訪郡下諏訪町5317(JR下諏訪駅構内)

*水曜日定休

発行/下諏訪観光協会・下諏訪商工会議所・下諏訪温泉旅館組合